

令和4年度事業報告

第1 重点事業総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、国全体が感染再拡大の抑制と社会経済活動の両立に向けて大きく動き出す1年となった。協会事業としては、4月に予定していた「京都府警察・京都府警備業協会連絡協議会」が中止になったものの、その後の事業は、感染防止対策を徹底しながら、すべて当初計画どおりに実施し、無事終了することができた。

中でも、協会創立50周年記念式典・祝賀会を最重点事業と位置づけて取り組み、1月19日（木）、ホテルグランヴィア京都において京都府知事（代理：副知事）、京都市長、警察本部長などのご臨席をいただき、総勢193人が出席して盛大に開催するとともに、「創立50周年記念誌」を制作した。

年間を通じては、特別講習と事前講習をそれぞれ8回開催し、多くの検定合格警備員を輩出したほか、指導教育責任者の新規及び追加取得講習を4回、機械警備業務管理者講習を1回、また、京都としては2回目となる就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業などを実施した。



第2 公益事業

1 警備員等に対する教育事業

(1) 特別講習

年間事業計画どおり、計8回開催した。

本講習合格率は、68.3%（前年度67.4%）だった。

種別	区分	回数	本講習			再講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
施設警備業務1級		1	47	27	57.4%	1	1	100%
施設警備業務2級		2	101	83	82.2%	13	8	61.5%
交通誘導警備業務2級		2	133	74	55.6%	22	7	31.8%
雑踏警備業務1級		1	41	21	51.2%	-	-	-
雑踏警備業務2級		1	55	41	74.5%	2	0	0%
貴重品運搬警備業務2級		1	39	38	97.4%	6	3	50.0%
合計		8	416	284	68.3%	44	19	43.2%

(2) 警備員指導教育責任者等講習

京都府公安委員会から委託を受けて、2号を2回、1号と3号を各1回開催した。

新規取得講習の合格率は、71.1%（前年度は1号・2号実施で57.3%）だった。

ア 警備員指導教育責任者講習

種 別	区 分	回 数	新規取得講習			追加取得講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
1号警備業務		1	27	18	66.7%	4	4	100%
2号警備業務		2	45	32	71.1%	7	7	100%
3号警備業務		1	4	4	100%	—	—	—
合 計		4	76	54	71.1%	11	11	100%

イ 機械警備業務管理者講習

回数	受講者	合格者	合格率
1	4	4	100%

(3) 現任警備員教育

基本教育4時間、業務別教育6時間及び基本+業務別計8時間、業務別2時間など、会員からの要望に柔軟に対応した現任警備員教育を実施した。

(4) 就職氷河期世代の方向けの短期資格習得コース事業

11月17日から12月8日にかけて、全国警備業協会から委託を受けた就職氷河期世代の方向け短期資格習得コース事業を開催し、受講した5人全員が施設警備業務2級に合格した。

(5) 普通救命講習

1月26日(木) 京都経済センターにおいて、京都市消防局下京消防署の協力を得て、普通救命講習を開催し、心肺蘇生訓練等を実施、受講した21人に対して、「普通救命講習修了証」が交付された。

2 警備業務適正化事業

(1) 教育管理者研修会

8月30日(火) 京都経済センターにおいて令和4年度教育管理者研修会を開催し、会員企業の教育管理者ら82人(64社)が参加した。

研修会の第1部では、警察本部生活安全企画課の伊東満氏が『適正な警備業務の実施に向けて』と題して講演し、警備員による犯罪の発生状況や警備業者に対する行政処分件数を示しながら、「自分の会社ではこのようなことが絶対に起こらないよう警備員教育を徹底してほしい」と、法令遵守の徹底を求めた。

第2部では、(一社)全国警備業協会の山本正彦研修センター次長が『氷河期世代の就職支援プログラム』、『全国警備業協会のeラーニング』をテーマに講演した。また、京警協青年部会大島史朗氏(株)コトナがVRを用いた受傷事故防止ビデオを紹介した。

(2) 経営基盤強化等

ア 経営者研修会

10月25日(火) 京都経済センターにおいて、会員48社70人が参加して経営者研修会を開催し、石清水八幡宮の田中恆清宮司が、「神も仏も・猫も杓子も」と題して講演した。

イ 警備員等に対する表彰

(ア) 優良警備員等表彰

5月31日(火) 優良警備員等表彰式を行い、長年、当協会の外部理事としてご尽力いただいた中野淑夫氏(7/28逝去)を警備業功労者として表彰したほか、警備業協会運営功労者2

人、警備業教育関係等功
労者2人、優良警備員（勤
務成績優良）23人、優良
警備員（模範警備員）4
人をそれぞれ表彰し士気
の高揚を図った。



(イ) 労災事故防止活動に対
する表彰

10月25日（火）第21回警備業安全衛生大会において、労災事故防止論文18点、ポスター9点、標語852点の合計879点の応募作品の中から、各部門の優秀作品作成者9人と、同企画に熱心に取り組んだ8事業所に対し表彰を行った。

(ロ) 協会創立記念事業としての表彰

1月19日（木）協会創立50周年記念式典において、協会創立から50年間、会員として警備業と協会の発展に尽力し続けた15社に対し感謝状を贈呈した。

ウ 警備業経営講座

機関誌みらいきょうとの「警備業経営講座」コーナーにおいて、社会保険労務士による割増賃金率の変更、フレーミング効果、給与のデジタル払い、労災事故防止等、業務環境の向上に資する記事を掲載した。

エ 「警備の日」広報活動

警備の日（11月1日）の広報活動として、10月26日から11月1日までの1週間、「11月1日は警備の日、安心・安全を未来へ繋ぐ京都府警備業協会」と印字した広報用マグネットシートを車両に掲出して業務を行い、警備業をアピールした。

同日、青年部会（水上太一部会長／(株)コトナ）にご協力いただき、警備の日広報用ゼッケンを着用して、当協会（京都経済センター）周辺の清掃作業を行う予定であったが、降雨により中止となった。



(3) 暴力団等反社会的勢力排除対策

ア 暴力団等反社会的勢力排除対策協議会

6月23日（木）ホテル日航プリンセス京都において、「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」を開催し、警察本部担当補佐から「最近の暴力団情勢等について」講演をいただき、その講演内容は、機関誌みらいきょうと（第65号）に掲載した。

イ 暴力・違法銃器追放京都府民大会

11月15日（火）ロームシアター京都において開催された、「令和4年みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会」に、宇多会長のほか20社26人が参加し、第二東京弁護士会・深沢直之弁護士による「クレーマー・不当要求対応」などの講演を受講した。

ウ 不当要求防止責任者講習

11月21日（月）京都経済センターにおいて、第14回不当要求防止責任者選任時講習を開催し、会員企業の担当者57人が受講した。

3 地域安全対策事業

1月18日（水）京都府警察学校において開催された、「第9回京都テロ対策ネットワーク総会」に足達専務理事が参加した。

4 災害支援活動事業

(1) 協定に基づく名簿の作成と報告

京都府及び京都府警察本部と締結している「災害時における交通誘導業務及び警戒業務等の支援に関する協定」及び「同細目協定」に基づき、災害支援活動警備業者名簿を作成し、災害時における出動可能警備員数等を京都府知事及び京都府警察本部長に報告した。

(2) 京都府総合防災訓練への参加

9月4日（日）精華町立東光小学校グラウンドをメイン会場に、令和4年度京都府総合防災訓練が実施され、当協会を代表して、地元のJUKO株式会社から警備員2名が参加し、土砂崩れによる道路啓開現場における車両通行規制及び緊急車両の誘導業務を的確に実施した。



(3) 警備員派遣要請対応訓練の実施

10月27日（木）協会として初めて、ウェブ会議による対策本部会議や電子メールとGoogleフォームによる派遣可能人員の集約方法を取り入れた、京都府との災害支援協定に基づく警備員派遣要請対応訓練を行った。

5 労働災害防止活動事業

(1) 京都ゼロ災3か月運動

京都労働局が主唱し、安全・健康・快適職場を目指して、危険ゼロの取組による災害ゼロ・健康確保を目的とする京都ゼロ災3か月運動に多くの会員企業が参加し、労働災害ゼロの実現に向けて取り組んだ。

(2) 警備業安全衛生大会

10月25日（火）京都経済センター6階会議室において、第21回警備業安全衛生大会を開催し、会員48社70人が参加した。労災事故防止ポスター等優秀作品作成者や事業所に対する表彰の後、協会業務委員会委員長である、株式会社コトナ代表取締役社長の大島伸二氏が大会宣言を読み上げ、会場の拍手で採択した。

第3 共益事業

1 懇親会の開催

5月31日（火）定時総会後に懇親会を開催し、会員等83人が参加して親睦を深めた。

2 ゴルフコンペの開催

5月17日（火）に関西カントリークラブ、11月10日（木）に富士スタジアムゴルフ倶楽部南コースにおいて、総務委員会主催の第17回、第18回みらいきょうと会ゴルフコンペを開催し、延べ69人のプレーヤーが腕を競い、親睦を深めた。

3 協会創立50周年記念式典・祝賀会の開催

1月19日（木）ホテルグランヴィア京都において、来賓及び会員の総勢193人が出席して、協会創

立50周年記念式典・祝賀会を開催した。

第4 役員・委員会等の活動状況

1 理事会

定款に基づく理事会を4回開催した。

2 専門委員会

(1) 総務

8月25日（木）京都経済センター会議室で総務委員会を開催し、1月の創立50周年記念式典等の実施要領のほか、11月のゴルフコンペや来年度の定時総会の開催案等について検討した。このうち創立50周年記念式典等の実施に関しては、協会創立時からの会員である15社に対し表彰を行うこと、表彰規程に基づく表彰ではなく「記念事業」として実施すること、毎年1月に実施する永年勤続者表彰は次年度定時総会で実施すること、式典招待者の調整、祝賀会におけるアトラクションの内容など、幅広く詳細に検討し、それぞれの検討結果を理事会に提案し、審議を経て承認された。

(2) 広報



4月18日（月）京都経済センター会議室で広報委員会を開催し、青年部会が制作したVR動画の広報方針等について検討し、理事会に報告した。

また、協会創立50周年記念誌の制作に向け、8月以降4回の委員会を開催して企画、コンテンツ、ページ割り、デザインなどの協議・検討を重ねるとともに、SNSのグループチャットも活用して細かな意見交換、情報共有を繰り返しながら完成させた。協会創立50周年記念誌は、会員企業のメッセージや写真を取り入れた会員名簿をはじめ、宇多会長と警察の生活安全部長との特別対談、また、警備業の未来を語る座談会などこれまでの記念誌にない企画が盛り込まれた。

(3) 防災

前記、第2-4-(3)警備員派遣要請対応訓練の実施に記載のとおり、10月27日に警備員派遣要請対応訓練を実施した。インターネットの活用を主軸とした初めての訓練であり、3回の委員会を開いて計画を策定し、10月14日の予備訓練を経て本番訓練とした。訓練当日は、警察本部から警備第一課危機管理対策室長や交通規制課長補佐などの視察のほか、対策本部会議には警備保障タイムズ記者がWeb参加して取材した。



(4) 青年部会

7月8日（金）京都経済センター会議室において令和4年度定時総会を開催した。総会では、令和4年度の活動重点について検討し、「警備業におけるカスタマーハラスメント」について調査、研究していくことを全会一致で決定した。また、総会後は、植村健志行政書士による、「警備業にとってのSDGsを考える」との演題で特別講演が行われ、全員で聴講した。